



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年2月3日

上場会社名 麻生フォームクリート株式会社  
 コード番号 1730 URL <http://www.asofoam.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花岡 浩一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事総務部長 (氏名) 井上 喜博  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 044-422-2061

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,842	9.5	5		0		6	
2019年3月期第3四半期	3,141	6.7	56		48		45	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	1.86	
2019年3月期第3四半期	13.37	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,327	1,313	39.5
2019年3月期	3,721	1,337	35.9

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 1,313百万円 2019年3月期 1,337百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		5.00	5.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	5.1	90	122.4	95	92.1	66	119.5	19.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	3,420,000 株	2019年3月期	3,420,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	6,231 株	2019年3月期	6,194 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	3,413,797 株	2019年3月期3Q	3,413,806 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
3. 補足情報	7
受注高、完成工事高及び繰越工事高	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得の改善や底堅い設備投資などにより景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。米中貿易摩擦による世界経済の減速や台風被害の影響により生産活動が落ち込み、また消費税増税も個人消費への逆風となり、景気の先行きは楽観出来ない状況となりました。

建設業界におきましては、国内建設投資は、公共需要と民間需要のいずれも安定的に推移いたしました。資材価格や労務費は上昇傾向にあり、また受注価格競争が激しく採算面において厳しい状況が続きました。

このような状況の下、組織として分けていた気泡コンクリート工事部門と地盤改良工事部門を当事業年度から一体化し、営業力の増強と施工の効率化をはかり、受注量の獲得と収益性の改善に取り組んでまいりました。

しかしながら、当第3四半期累計期間の業績は、地盤改良工事の受注高は見込んでいた大型工事の失注があったものの、建築分野を中心に順調に受注出来たことで前年同期に比べ102.2%増加しましたが、主力の気泡コンクリート工事の受注高が見込んでいた軽量盛土工事の発注遅れなどから前年同期に比べ38.4%減少した結果、工事全体の受注高は2,891百万円（前年同期比15.0%減）と減少し、また一部大型工事の工期のずれ込みなどもあり売上高も2,842百万円（前年同期比9.5%減）と減少いたしました。

各段階の損益につきましては、施工の効率化に努めたことで完成工事総利益率が前年同期に比べ改善し、また前年同期には取引先の経営破綻に伴う貸倒引当金繰入額の計上がありましたが、売上高の減少や地盤改良工事より利益率が高い気泡コンクリート工事の完成工事高構成比が低下したことで、営業損失5百万円（前年同期は営業損失56百万円）、経常利益0百万円（前年同期は経常損失48百万円）、四半期純損失6百万円（前年同期は四半期純損失45百万円）となりました。

なお、当社の主たる事業の特徴として、完成工事高の割合が下半期に偏するという傾向があります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ394百万円減少し3,327百万円となりました。その主な要因としましては、現金預金が362百万円、完成工事未収入金が35百万円それぞれ減少したことなど流動資産の減少などによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ370百万円減少し2,014百万円となりました。その主な要因としましては、支払手形が129百万円、電子記録債務が107百万円、工事未払金が38百万円、未払金が68百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ24百万円減少し1,313百万円となりました。その主な要因としましては、配当金の支払いのほか当第3四半期累計期間に四半期純損失を計上したことにより、利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年10月25日に公表しました2020年3月期（通期）の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	719,315	357,011
受取手形	259,558	261,335
電子記録債権	358,765	353,508
完成工事未収入金	622,532	586,701
売掛金	1,314	4,934
未成工事支出金	4,451	5,117
原材料及び貯蔵品	61,443	59,440
前払費用	13,985	26,890
その他	7,957	25,878
流動資産合計	2,049,323	1,680,819
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	55,417	51,390
構築物（純額）	930	790
機械及び装置（純額）	168,430	166,615
車両運搬具（純額）	2,465	1,396
工具、器具及び備品（純額）	7,625	7,522
土地	1,100,858	1,100,858
リース資産（純額）	48,901	35,139
建設仮勘定	390	2,187
有形固定資産合計	1,385,020	1,365,903
無形固定資産		
ソフトウェア	936	4,767
リース資産	8,880	5,550
電話加入権	2,350	2,350
無形固定資産合計	12,167	12,668
投資その他の資産		
投資有価証券	25,564	22,467
関係会社出資金	36,668	36,668
破産更生債権等	4,553	4,553
長期前払費用	1,826	1,534
繰延税金資産	128,665	125,143
敷金	14,485	14,260
ゴルフ会員権	83,505	83,505
貸倒引当金	△19,968	△19,968
投資その他の資産合計	275,300	268,164
固定資産合計	1,672,488	1,646,735
資産合計	3,721,812	3,327,555

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	394,421	265,373
電子記録債務	386,655	279,014
工事未払金	398,177	359,287
短期借入金	10,000	32,000
1年内返済予定の長期借入金	227,200	229,200
リース債務	24,555	23,425
未払金	145,350	76,740
未払費用	4,097	8,108
未払法人税等	23,598	3,155
未払消費税等	19,323	26,508
未成工事受入金	25,825	10,823
賞与引当金	25,944	7,034
工事損失引当金	5,249	—
その他	6,345	14,681
流動負債合計	1,696,742	1,335,353
固定負債		
長期借入金	387,900	398,000
リース債務	38,033	20,778
退職給付引当金	212,755	229,124
役員退職慰労引当金	48,937	31,060
固定負債合計	687,625	678,963
負債合計	2,384,368	2,014,316
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	209,200	209,200
資本剰余金		
資本準備金	180,400	180,400
資本剰余金合計	180,400	180,400
利益剰余金		
利益準備金	24,050	24,050
その他利益剰余金		
別途積立金	885,000	885,000
固定資産圧縮積立金	909	829
繰越利益剰余金	39,637	16,314
利益剰余金合計	949,596	926,193
自己株式	△1,529	△1,552
株主資本合計	1,337,666	1,314,241
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△222	△1,003
評価・換算差額等合計	△222	△1,003
純資産合計	1,337,443	1,313,238
負債純資産合計	3,721,812	3,327,555

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	3,141,846	2,842,902
完成工事高	3,078,602	2,799,245
商品売上高	63,243	43,656
売上原価	2,603,767	2,352,250
完成工事原価	2,564,630	2,322,908
商品売上原価	39,136	29,342
売上総利益	538,079	490,652
完成工事総利益	513,971	476,337
商品売上総利益	24,107	14,314
販売費及び一般管理費	594,300	496,326
営業損失(△)	△56,221	△5,674
営業外収益		
受取利息	1	2
受取手数料	196	216
受取配当金	827	873
受取技術料	11,639	9,184
雑収入	389	476
営業外収益合計	13,054	10,753
営業外費用		
支払利息	3,812	3,520
為替差損	267	150
雑支出	1,326	495
営業外費用合計	5,405	4,165
経常利益又は経常損失(△)	△48,573	913
特別利益		
固定資産売却益	499	—
特別利益合計	499	—
特別損失		
減損損失	6,064	—
固定資産除却損	0	41
投資有価証券評価損	—	1,981
特別損失合計	6,064	2,022
税引前四半期純損失(△)	△54,137	△1,108
法人税、住民税及び事業税	17,209	1,366
法人税等調整額	△25,707	3,857
法人税等合計	△8,498	5,224
四半期純損失(△)	△45,639	△6,333

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



## 3. その他

## 受注高、完成工事高及び繰越工事高

## (1) 受注高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	2,855,309	84.0	1,759,613	60.9	3,510,954	80.4
地盤改良工事	552,383	16.2	1,116,765	38.6	771,439	17.7
その他工事	△6,300	△0.2	14,850	0.5	82,950	1.9
合計	3,401,392	100.0	2,891,228	100.0	4,365,344	100.0

## (2) 完成工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	2,310,624	75.0	1,965,100	70.2	3,232,059	76.8
地盤改良工事	701,604	22.8	759,566	27.1	880,476	20.9
その他工事	66,373	2.2	74,578	2.7	94,707	2.3
合計	3,078,602	100.0	2,799,245	100.0	4,207,243	100.0

## (3) 繰越工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第3四半期累計期間末 2018年12月31日		当第3四半期累計期間末 2019年12月31日		前事業年度末 2019年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,047,767	93.8	576,490	55.2	781,977	82.1
地盤改良工事	52,588	4.7	449,972	43.1	92,773	9.7
その他工事	16,658	1.5	17,845	1.7	77,574	8.2
合計	1,117,014	100.0	1,044,307	100.0	952,324	100.0

- (注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合は、当四半期受注高にその増減額を含んでおります。したがって、当四半期完成工事高にもかかる増減額が含まれております。
2. 当四半期末繰越工事高は（前事業年度末繰越工事高+当四半期受注工事高-当四半期完成工事高）に一致しております。